

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	サトウタツヤ	所属	立命館大学
研究集会等名称	文化心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 11 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 7 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>今年度の研究会活動では、シンポジウム、研究会、講演会を実施することを通して、行動と記号との偶有的結びつきの蓄積を文化と捉える文化心理学とはどのようなものかを、人生時間の流れを捨象せずに人間の生活や行動と文化との関係を捉える視点から議論した。下記に具体的活動内容を示す。</p> <p>1. TEM理論座談会&ポスター発表会@京都 日時 : 2012年12月23日(日) 14:00~ 場所 : 立命館大学衣笠キャンパス 創思館 401・402 内容 : 文化心理学の可能性 座談会 (話題提供者: 河野哲也 (立教大学) 「記号の心理学×アフォーダンスの心理学」/指定討論者 ヤーン・ヴァルシナー (クラーク大学)、森直久 (札幌学院大学) / 渡邊芳之 (帯広畜産大学)、尾見康博 (山梨大学)、サトウタツヤ (立命館大学)</p> <p>2. 質的研究・文化心理学の交差点—ヤーン・ヴァルシナー教授を迎えて— 日時 : 2012年12月24日(月・祝) 13:00~ 場所 : 立命館大学衣笠キャンパス 創思館1階カンファレンスルーム 内容 : 講演「文化心理学の可能性 “Culture in Minds and Societies”」 ヤーン・ヴァルシナー (クラーク大学)・シンポジウム「日本における質的研究のカッティングエッジ」(話題提供: サトウタツヤ (立命館大学)、安田裕子 (立命館大学)、白井利明 (大阪教育大学) /指定討論: 森岡正芳 (神戸大学)、やまだようこ (立命館大学)、ヤーン・ヴァルシナー (クラーク大学) /司会: 田垣正晋 (大阪府立大学)</p> <p>3. 講演会「ヴィゴツキーを語る」 日時 : 2013年3月29日(金) 16:45~ 場所 : 立命館大学衣笠キャンパス 学而館第2研究会室 内容 : 講演「ヴィゴツキーを語る」中村和夫 (指定質問: サトウタツヤ /司会: 滑田明暢)</p>		